

有機的に機能し、病院全体が一丸となって質の向上を追求しなければならない時代を迎えつつあることを実感する貴重な経験となりました。

周到に準備されたグループワーク、講義ともに大変濃厚で充実しており開催者の方々に心より感謝申し上げます。参加の皆さんも大変ご苦労様でした。

関門トンネルを歩いて九州に渡り、ふく刺し、瓦そばに舌鼓を打つなどアトラクションもとても充実した研修でした。



会場風景

ランチョンセミナーでは、岩手県立中央病院院長の望月 泉先生から、地域住民が必要とする病院をめざしている県立中央病院の取組みを、また、パネルディスカッションでは、

本学術集会のメインテーマである「みんなで支える医療連携」をテーマに、各領域で活躍されている5人のパネリストから貴重な意見をいただきました。

さらに一般演題では22題の発表を行ったほか、企業展示は7社から参加をいただくなど盛会のうちに終了致しました。ご協力いただきました皆様に心から感謝致します。

今年、6月14日(金)・15日(土)には、本県盛岡市において第15回日本医療マネジメント学会学術総会が開催されます。多くの皆様のご来県をお待ちしております。

第6回宮崎支部学術集会

学術集会会長：国立病院機構宮崎東病院院長 比嘉利信



会場風景

2012年9月29日(土)、宮崎市シーガイアのサンホテルフェニックスを会場に、「より良い医療環境を目指して」をテーマとして第6回宮崎支部学術集会を開催致しました。あいにく

台風の接近で雨模様となりましたが、学生を含む329名の多数の参加者があり、一般演題39題、クリティカルパス11題の発表について、活発な討議や意見交換が行われました。

特別講演には宮崎大学医学部内科学講座下田教授に「臨床腫瘍学の進歩と宮崎県におけるがん診療連携」、ならびに同社会医学講座板井教授に「現場の倫理的ジレンマをサポートする体制のあり方」と題して、それぞれご専門の立場から本会にふさわしい内容のご講演をいただきました。またシンポジウム「医療安全の取り組み」では、各施設において対応に苦慮した事例などを発表して頂き、大変有意義な会となりました。

今回の大会運営にあたり、ご指導ご支援いただきました皆さまに深く感謝申し上げ、本学会のさらなる発展に微力ながら貢献していきたいと考えます。

第3回福島支部学術集会

学術集会会長：竹田綜合病院診療部精神科科長 小藺江 浩一

2012年11月10日(土)、会津若松市の竹田綜合病院竹田ホールにて第3回福島支部学術集会を開催致しました。昨年度3回目を迎える予定でしたが、3.11の震災と原発事

開催報告

支部学術集会

第8回広島支部学術集会

支部長：広島県病院事業管理者 大濱紘三

2012年9月8日(土)に広島市立広島市民病院にて開催致しました。「病院における人事考課の現状と課題」をテーマに、52名のご参加を頂きました。特別講演では、「近代的病院から脱近代的病院へー設計者と患者の立場から」と題して広島国際大学工学部住環境デザイン学科教授久保田 秀男先生にご講演を頂きました。また、人事考課に関するシンポジウムでは発表者として坂本昭信先生(広島記念病院)、福谷伸爾先生(中電病院)、兼 生夫先生(国立病院機構呉医療センター)を、さらにコメンテーターとして、(株)ヘイコンサルティンググループ代表取締役社長 高野研一先生をお招きしました。久保田先生のご講演では、脱近代的病院の3つの目標として、患者中心の病院・経済的な病院・変化する病院をあげ、今後の病院の在り方についてお話されました。シンポジウムでは、発表者3名によりご所属の各病院での人事考課の現状と課題に関するご報告がなされました。3名の発表より、コメンテーターである高野先生より、フィードバックから繰り返し話し合い皆で病院の理念を共有化することの重要性に関するコメントを頂きました。最後にご協力、ご支援頂きました皆様に感謝を申し上げ開催報告とさせていただきます。

第4回岩手県支部学術集会

学術集会会長：盛岡市立病院院長 加藤章信

2012年9月16日(日)、岩手県医師会館において、152名の参加により第4回岩手県支部学術集会を開催しました。昨年は、東日本大震災により中止となりましたので2年ぶりの開催となります。

メインテーマは、今日の医療を展開する上で医療連携の重要性がますます増していることから「みんなで支える医療連携」と致しました。

特別講演では、松阪市民病院院長の小倉嘉文先生から「病院崩壊からの脱却～松阪市民病院のチャレンジ」をテーマに、自治体病院の奮闘の軌跡についてご講演いただきました。